

令和7年第4回三芳町議会定例会 一般質問通告書

質問順序・質問者及び質問要旨

順序	質問者	質問要旨	質問内容	質問の相手
1	桃園 典子	1 高齢者の孤独死を防ぐための対策について	1) 高齢者独居世帯の推移（過去3年） 2) 孤立化を防ぐための事業について ①町が実施している事業は ②孤立防止の取り組みで課題となっていることは 3) 民生委員による見守りについて ①民生委員の定数に対する配置状況は ②活動での課題や意見は ③民生委員協力員制度の導入予定はあるか 4) 見守り体制の整備について ①民生委員や福祉協力員など見守り活動をする方々での情報共有や協議の状況は ②有事の際に通報する際のガイドラインはあるか ③さいたま市で実施している「要支援世帯の早期発見のための通報等ガイドライン」のような仕組みを作っては 5) 見守り体制の強化について ①町が現在官民連携で行っている見守り事業と効果は ②民間事業者との協力協定締結先の拡充を図り、要支援世帯の早期発見と支援を可能にしては ③秩父市で運用されているような単身者の安否確認を可能にするアプリの導入をしては 6) 孤独死を防ぐため、さらなる重層的支援の仕組みづくりが必要と考えるがどうか	福祉課
		2 5歳児健診を軸とした支援体制について	1) 5歳児健診について ①実施にあたって今後の流れは ②健診が受けられなかった方への対応は ③健診結果に基づくサポートの方向性は ア 幼稚園・保育園では イ 小学校および教育委員会では ウ 保護者へは 2) 家庭での子どもへの声かけや関わり方などの重要性を鑑みペアレントトレーニング	町長 こども支援課 教育センター こども支援課

		3 朝の小1の壁 に対する環境 整備について	<p>グ等で保護者を支援しては</p> <p>1) 登校前の居場所の確保について</p> <p>①保育所(園)より小学校に入学している件数の推移(過去3年)</p> <p>②働く保護者の勤務時間がこどもの就学により影響を受けている現状をどう捉えているか</p> <p>③第3期三芳町こども・子育て支援計画の基本目標5には「仕事と子育ての両立のために」とあり延長保育等様々な取り組みが示されていることから、始業前の児童の預かり事業も必要と考えるがどうか</p> <p>④埼玉県の新規事業として「朝のこどもの居場所づくりモデル事業」による検証がスタートしたが、今後のニーズの増加に備えて事業実施を検討してはどうか</p> <p>⑤働く保護者の支援のため学童保育室の利用時間延長と合わせて朝の居場所づくりも必要と考えるが見解は</p>	<p>こども支援課</p> <p>教育センター</p> <p>こども支援課</p> <p>教育長 教育センター</p> <p>町長</p>
2	内藤美佐子	1 防災対策について	<p>1) 防災ラジオ導入について</p> <p>①有事の時、情報をどのように町民に伝達するか</p> <p>②デジタル化された防災行政無線での対応はどうか</p> <p>③町の防災情報を地域コミュニティFMの電波を利用し、宅内の防災ラジオに送信することで、より多くの町民に正確な情報を伝えることができるかと考えるがどうか</p> <p>④併せて、防災ラジオ購入に補助制度を創設しては</p> <p>2) 避難時のトイレ対策について</p> <p>①トイレトレーラーの検討はしたか</p> <p>②自走式仮設水洗トイレについての研究は</p> <p>③群馬県みどり市が導入したトイレトラックについて</p> <p>ア 多機能トイレ、電動車いすりフターの装備も可能で、共生のまちづくりを進める本町に合うのでは</p> <p>イ 牽引免許の必要がないのがメリット</p>	<p>町長 自治安心課</p> <p>町長</p> <p>町長</p>

			<p>では ウ 平時は、防災訓練やイベント会場などで防災意識の啓発活動に利用できるのでは</p>	町長
	2 疾病予防への対応について	<p>1) 带状疱疹ワクチン接種について ①令和7年度はがき送付の対象者数（年代別）は ②上乗せ補助で、より多くの方に接種できないか ア 対象者の拡大は イ 補助額の拡大は</p> <p>2) 5年生存率8%の難治がん「膵臓がん」へのリスク検査（腹部超音波検査・血液検査）の導入は</p> <p>3) 予防接種・がん検診推進にナッジ理論の応用はどうか</p>	健康増進課	
	3 職員の離職について	<p>1) 定年ではなく、自己都合で仕事を辞めた職員数（過去5年間）は</p> <p>2) 早期退職者の年齢別（20代、30代、40代、50代）の人数（過去5年間累計）は</p> <p>3) 特に若い退職者について、理由の分析はしているか</p> <p>4) 各課にてマンパワー不足に陥っていないか</p> <p>5) 日常の行政運営が円滑に進まないケースが起きていないか</p> <p>6) 他の職員に仕事の比重が増えているか</p> <p>7) 地方創生等の新しい事業が増える状況で、役割を終えた事業の洗い出しや廃止等、職員の仕事を減らすことも必要と考えるか適切に行っているか</p> <p>8) 労働時間、ハラスメント対応、業務量の改善を図る等により労働環境を良くし続けることはどうか</p> <p>9) 職員専用の休憩所設置も検討課題と考えるかどうか</p> <p>10) 若い職員からは言い出せないこともあるだろうから、町長及び幹部職員には若い職員の意見を聞く場の創設や、その意</p>	<p>総務課</p> <p>政策推進室</p> <p>総務課</p> <p>町長</p>	

			見を尊重する職場づくりを望むかどうか	
3	吉村美津子	1 就任後の林伊佐雄町政の政策について	<p>1) 税金の用途について</p> <p>①三芳スマート I Cフル化・車種拡大</p> <p>ア ①の事業に要した多額の支出を町長はどのように捉えているか</p> <p>イ 三芳スマート I Cフル化・車種拡大にかかった費用で学校給食費の無償化ができたのではないか</p> <p>ウ 修学旅行費の無償化ができたのではないか</p> <p>②国際交流事業</p> <p>ア ②の事業に要した支出額を町長はどのように捉えているか</p> <p>イ 事業の実施にあたり町民の声は聴いているのか</p> <p>ウ 国際交流事業は、今後も継続するのか</p> <p>エ その支出額で補聴器購入補助など、町民の生活支援策を行うべきではないか</p> <p>③熱中症対策</p> <p>ア 低所得者へのエアコン設置補助や電気料金への補助を行うべきではないか</p> <p>④(仮称)地域活性化発信交流拠点</p> <p>ア ④の事業に要する費用をどのように捉えているか</p> <p>イ パブリックコメントの内容は</p> <p>ウ シンポジウムを開催すべきでは</p> <p>エ 上富小学校は、まだ、廃校と決定していないのに、計画に掲載するのは、民主主義に反するのではないか</p> <p>2) 職員への対応について</p> <p>①定年前に退職する職員が多いように思うが、町長はどのように捉えているのか</p> <p>②事業を行うにあたり担当課の意見を十分聞いているか</p> <p>③国・県職員の配置ではなく町職員の意向を大事にすべきではないか</p> <p>3) 平地林の減少について</p> <p>①緑の減少をどのように捉えているのか</p> <p>②保全施策をどのようにしていくのか</p>	<p>町長</p> <p>総合調整幹</p> <p>学校教育課</p> <p>秘書広報室</p> <p>福祉課</p> <p>総合調整幹</p> <p>総務課</p> <p>環境課</p>

			<p>③具体策は</p> <p>4) 児童・生徒の不登校の推移について</p> <p>①町長は推移をどのように捉えているのか</p> <p>②誰一人取り残さず、幸せになるまちとは、具体的にはどのような施策を進めるのか</p> <p>③上富小学校の存続こそ、子どもの権利に関する条例を制定させた意義があるのではないか</p>	<p>教育センター</p> <p>学校教育課</p>
4	菊地 浩二	<p>1 孤独死・孤立死を防ぐには</p> <p>2 急病・事故等の緊急事態への対処は～緊急時連絡システム事業～</p>	<p>1) 三芳町が認識している孤独死・孤立死の定義は</p> <p>2) 三芳町内での孤独死・孤立死の発生状況は</p> <p>3) 統計では孤独死・孤立死は高齢者に限ったことではないが、高齢者以外の孤独死・孤立死の認識は</p> <p>4) 孤独死・孤立死の実態把握の必要性をどのように考えているか</p> <p>5) 三芳町として孤独死・孤立死の発生を防止すべきと考えるか</p> <p>6) これまで三芳町は孤独死・孤立死を防止するためにどのような取り組みを行ってきたか</p> <p>7) 引きこもりと孤独死・孤立死の関係性をどのように認識しているか</p> <p>8) セルフネグレクト(消極的自殺)も孤独死・孤立死の要因と考えるか</p> <p>9) 亡くなられた方の尊厳をどのように考えているか</p> <p>10) 孤独死・孤立死の心配なく三芳町で暮らしていくために三芳町は今後どのような取り組みを行うか</p> <p>1) 緊急時連絡システム事業は在宅のひとり暮らし高齢者等に対し不安の軽減、福祉の増進のため長らく続けられている事業だが、この事業に対する三芳町の評価は</p> <p>2) 利用者の感想や設置対象だが利用できない人の意見は</p> <p>3) 固定電話を持たない方々が増えているが、携帯電話やネット等でもこの緊急時連絡システムは使えるか</p> <p>4) この緊急時連絡システム事業は現状のま</p>	<p>福祉課</p> <p>福祉課</p>

		<p>3 運転に不安がある方が免許返納後も生活に支障が少ない社会をつくるために</p>	<p>ま継続か、それとも時代に合わせアップデートする必要性を感じているか</p> <p>5) 民間のセキュリティサービス会社や通信会社の提供する見守りサービスがあるが、三芳町ではシステムを持たず、民間のサービスに対し補助していく考えは</p> <p>1) 高齢者の身体機能や認知機能の低下による交通事故リスクがメディアで取り沙汰され、運転に不安を抱いている高齢ドライバーは少なくない。三芳町では交通政策推進事業として運転免許証自主返納支援補助金を支給しているが、この補助制度をどのように検証しているか</p> <p>2) この補助制度に関してはもともと運転免許証を持っていない方からの不平・不満の声が聞こえるが、三芳町としてはどのような認識か</p> <p>3) 家族の勧めや健康不安から返納を検討しても返納後の車のない生活がイメージできずに返納をためらうケースも多い。返納後も安心して暮らせる具体的な情報提供はどのように行っているか</p> <p>4) 免許返納後の公共交通として令和7年10月から始まる循環ワゴンが期待される。業者選定や車両の確保など進捗状況は</p> <p>5) この循環ワゴンの運行により三芳町の公共交通に与える効果をどのように考えているか</p> <p>6) 循環ワゴンの本格運用により、その後の三芳町公共交通の将来像をどのように描いているか</p>	<p>政策推進室</p>
5	牛丸 藍子	<p>1 コミュニティと自治について</p>	<p>1) 既存コミュニティの衰退に対する取り組みについて</p> <p>①行政連絡区やPTA等、ライフスタイルの変化や少子高齢化に伴い縮小傾向にあるが既存コミュニティに対する町の認識は</p> <p>②コミュニティの運営について住民が相談できる窓口はあるか</p> <p>③ボランティアコーディネーター研修の受講経験のある職員はいるか</p>	<p>町長</p> <p>自治安心課 福祉課 社会教育課</p> <p>総務課</p>

			<p>④ボランティアコーディネーター研修を職員が受講する事でコミュニティに関する相談にも対応しやすくなり、住民参加の取り組みが促進できると考えるかいかか</p> <p>⑤既存コミュニティの衰退は新たな形態への転換期を迎えているとも捉えられるが、これからの地域コミュニティについて町の考えは</p> <p>2) 学校教育と自治について</p> <p>①学校生活において自治についての見識を高め実践する取り組みはあるか</p> <p>②主体性を育むためにどのような取り組みがあるか</p> <p>③成長段階や個々の性格によって得手不得手がある中で、いずれの児童生徒も意見表明を出来、他者への理解に努める事を後押しする教育が重要と考えるが、どのような工夫・実践をしているか</p> <p>④自治においては既存のルールを変えるプロセスを実践的に学ぶ機会も必要と考えられるが、そのような取り組みは出来ているか</p> <p>⑤児童生徒が学校外で自治について実践している活動はあるか</p> <p>⑥行政連絡区・自治会等の活動に児童生徒が役割をもって活動するボランティアについて町の認識は</p> <p>3) 社会教育・生涯学習と自治について</p> <p>①当町のホームページの生涯学習・社会教育のページには社会教育課の事業が列挙されているが、子どもを対象にした事業が主であり、その他の社会教育や生涯学習に関する記載がない。社会教育や生涯学習はどこが所管しているか</p> <p>②社会教育課は現在の事業に即した名称にする必要があると考えるかいかかか</p> <p>③生涯を通した切れ目ない社会教育・生涯学習が実現できるよう情報を統合し、住民に円滑な案内ができるよう所管を一本化すべきと考えるかいかかか</p> <p>④公民館は社会教育施設としての専門性が</p>	<p>自治安心課 福祉課 社会教育課</p> <p>町長 教育長 学校教育課</p> <p>町長 社会教育課</p>
--	--	--	---	--

			<p>求められている傾向があるが、当町の目指す公民館像は</p> <p>⑤自己教育活動の向上や自治意識の醸成のためには生涯学習・社会教育活動のサポートだけでなく地域の共通課題をもとに団体間の橋渡しや活動のコーディネートができる職員が今後のまちづくりにおいて重要な役割を果たすと考えるが、人材育成に関して町の考えは</p> <p>4) これからの行政連絡区の運営について</p> <p>①行政連絡区の加入率低下に対し、これまでの町の取り組みは</p> <p>②周知活動を含めた取り組みの効果をどのように評価しているか</p> <p>③行政連絡区に対する印象や課題の確認のためにも行政連絡区に特化したアンケートを実施してはどうか</p> <p>④加入率低迷の要因は自治について意識する機会の乏しさも一因であると考えますが、自治意識の向上について町はどのようなアプローチを考えているか</p> <p>⑤当町のホームページの行政連絡区自治会等のページで活動内容は理解できるが、参加意欲に結び付きにくい印象がある。活性化のためにはリニューアルが必要と考えるか</p> <p>⑥定年後の男性が活躍している事例・期待する声もあり、町としてもPRに力を入れて頂きたいと考えるか</p> <p>⑦少子高齢化と人口減少により小規模化にシフトする中でも多世代化の活路が拓ける余地はあると考えるが、町はどう支援していくか</p>	<p>町長 自治安心課</p> <p>町長</p>
6	細田 三恵	1 障がい者福祉施設での虐待通報と公益通報者保護法について	<p>1) 障がい者福祉施設での過去3年間の虐待通報件数は</p> <p>2) 町として外部相談窓口は設置されているか</p> <p>3) 通報者が匿名で安心して通報できる仕組みは整っているか</p> <p>4) 町が通報を受けた場合、どのような手順で調査や対応を行っているか</p> <p>5) 中小企業等に対する支援やガイドライン</p>	町長 福祉課

		<p>の提供についてはどう考えているか</p> <p>6) 現在の課題は</p> <p>1) 自分とつながるプロジェクトにある非認知能力「みよしの力」の育成について</p> <p>①非認知能力の中でも特に重視されている「学びに向かう力」＝「みよしの力」とは、どのように定義・位置づけているのか</p> <p>②MOVEプランは2年目となるが、各小中学校で「非認知能力の育成」に関しての、具体的な実践例や教員・児童生徒の変化について、どのように評価されているか</p> <p>③今後「みよしの力」の育成を発展・深化させていくと思うが、数値化が難しい非認知能力をどのように評価し、改善に繋げていくか</p> <p>④改善に向けて、「MOVEプラン」以前の当町における教育で、非認知能力をどのように育てていたかを分析し、その強みと弱みを補う形で、MOVEプランを組み立てることで、大きな効果が得られると考えられる。そうした分析は行っているか</p> <p>⑤未来へつながるMOVEプランの取り組みの一環として、大人への第一歩を踏み出す節目に、将来の目標や夢を誓い、周囲の人々に感謝の気持ちを伝える場として『立志式』を行ってはどうか</p> <p>2) 世界とつながるプロジェクトの「国際感覚を育む国際交流」について</p> <p>①現在三芳町は、マレーシア、オランダ、オーストラリア、韓国との様々な繋がりでの国際交流が行われている。将来像として児童生徒の国際的視野をどのように描いているのか</p> <p>②日本と台湾は、戦前からの歴史的な関係や人の往来があり、台湾の人々の多くが日本に対して非常に好意的である。日本文化に対する理解も深く、自治体レベルでの交流も円滑に進む素地がある。そこで、過去の歴史や交流において三芳町と</p>	<p>教育長 教育センター</p> <p>教育長 学校教育課</p> <p>町長 秘書広報室</p>
--	--	---	--

			<p>台湾との交流やつながりの調査や、国際性を育むという観点からも三芳町と台湾の共通点を見出すことが重要だと考えるが、いかがか</p> <p>③児童生徒の交流、台湾特産品を紹介する物産展の開催、町内での台湾文化イベントなどを通して、町の活性化と国際感覚を自然に育むことが出来ないか</p> <p>④台湾海峡を巡る緊張が世界的な関心事となる中、日本の地方自治体においても、こうした地域をつながりを持つことは、安全保障や国際情勢への住民の理解を深めることにもつながると考えるがどうか</p>	
7	久保 健二	<p>1 スケートボードパークについて</p> <p>2 (仮称) 地域活性化交流発信拠点について</p>	<p>1) マスメディアの報道内容と事実が相違しているのは何故か</p> <p>2) スケートボードパーク整備を提案した当初は、町長をはじめ町担当課も整備に関し消極的だったが実際に開園し所狭しと滑走する愛好家たちを見てどのように感じているか</p> <p>3) 愛好会と打ち合わせをした設計内容と相違した理由は</p> <p>4) 名称やルール（利用時間等も含）について</p> <p>①ルールは誰がどのような調査、協議のもと決定したのか</p> <p>②名称は誰がどのように決めたのか</p> <p>5) 体験会やスクール等、仮設エリア利用時は他市パーク施設で行われていたが、新規パークでの同活動に対する町の考えは</p> <p>6) これから迎える夏の暑さ対策は</p> <p>7) 今後のパーク運営は</p> <p>8) 今後のパーク、愛好会に期待することは</p> <p>1) 需要、必要性について町の考えは</p> <p>2) 本事業に対しての事業手法は</p> <p>3) 現時点での予定敷地面積は</p> <p>4) 当事業での収益の見込み積算額は</p> <p>5) 用地取得費用を含めた当事業に掛かる総予定額は</p> <p>6) 現時点での「道の駅」的な施設整備は見送るべきと感じているが、町の考えは</p>	<p>町長 教育長 施設づくり課</p> <p>町長 総合調整幹</p>

		3 公共交通について	<p>7) NEXCO東日本とタイアップしての施設整備を考えてみては</p> <p>1) 町内循環ワゴンについて</p> <p>①車両は購入、リースどちらに決まったのか</p> <p>②納車時期は</p> <p>2) 解消緊急対策事業の補助金対象となる課題の抽出、課題を解消したルート設計になっているか</p> <p>3) 交通空白地帯、公共交通に対する課題等を漏れなく解消するための更なる検証、見直しの考えは</p> <p>4) 運行事業者の選定の見込みは</p> <p>5) 運行開始時期は</p> <p>6) 新規公共交通事業を導入する意味をどのように捉え考えているか</p>	町長 政策推進室
8	林 善美	<p>1 国道254号の安全対策について</p> <p>2 プレコンセプションケアに</p>	<p>1) 国道254号の植樹帯や街路樹の繁茂について、どのような対策を行っているか</p> <p>2) 植樹帯や街路樹と横断歩道の危険性について、住民からの要望等はあるか</p> <p>3) 国道の点検頻度は</p> <p>4) 国道の植樹帯を横切る横断歩道が数か所ある。現状について町の見解は</p> <p>5) 植樹帯がある区間の事故件数は</p> <p>6) バイクのすり抜け運転が関係しているとみられる交通事故の発生件数や傾向は把握されているか</p> <p>7) 埼玉県警察では「No more すり抜けライダー」キャンペーンを通して危険性を啓発している。国道254号の特徴とバイクのすり抜けによる事故の関連についてはどのように考えるか</p> <p>8) 運転者と通行者が危険性を共通認識するために「(仮称) 国道254号におけるバイクすり抜け禁止条例」を制定してはどうか</p> <p>9) 県への要望等も含め、町として対応を考えていく可能性は</p> <p>1) プレコンセプションケアに対する町の認識は</p>	<p>道路交通課</p> <p>自治安心課</p> <p>町長 自治安心課 道路交通課 こども支援課</p>

		について	<p>2) プレコンセプションケア推進5か年計画が示された。まずは概念の理解と認知度の向上が必要となるがどのように推進していくか</p> <p>3) 令和6年度に策定された「三芳町健康づくり推進計画後期計画、Ⅶ親と子の健康づくりの推進」には妊娠前からの切れ目のない支援の充実が挙げられている。妊娠前の健康管理として取り組んでいる事業は</p> <p>4) プレコンセプションケアに関する取り組みは町に必要と捉えているか</p> <p>5) プレコンセプションケア検査費用助成事業の検討は</p> <p>6) プレコンセプションケアによる正しい知識の普及と相談支援の充実について町長の見解は</p>	町長
9	小松 伸介	1 物価高対策について	<p>1) 町民の生活状況について</p> <p>①収入別世帯数の現状は</p> <p>②住民税非課税世帯数は</p> <p>③ひとり親世帯数は</p> <p>④多子世帯数は</p> <p>⑤物価高が町民生活に与える影響をどう捉えているか</p> <p>2) 住民生活支援施策について</p> <p>①これまで行ってきた住民生活支援施策及び支出額は</p> <p>②その内、町の支出額は</p> <p>③それらの効果をどのように捉えているか</p> <p>④課題があるとすればどのような内容か</p> <p>⑤町独自の支援施策を講じる考えは</p> <p>⑥東京都が水道基本料金無償化を行うとの事だが、町が同様の施策を行った場合の支出額は</p> <p>⑦特に生活の厳しい住民税非課税世帯等の低所得者やひとり親世帯、多子世帯等に絞った場合の支出額は</p> <p>⑧水道基本料金の助成を検討しては</p> <p>⑨高校生等の通学費補助を検討しては</p> <p>⑩プレミアム付商品券やキャッシュレスポイント還元等を検討しては</p>	<p>税務課</p> <p>こども支援課 住民課 政策推進室</p> <p>政策推進室</p> <p>上下水道課</p> <p>町長 学校教育課 政策推進室</p>

		<p>2 平和事業について</p> <p>3 中学校部活動について</p>	<p>⑪米価高騰対策としてお米ギフト券支給を検討しては</p> <p>1) 平和事業・平和学習について</p> <p>①これまで町が行ってきた平和事業は</p> <p>②学校ではどのような平和学習が行われてきたか</p> <p>③町民や子ども達の意識醸成に寄与しているか</p> <p>④新たに考えている事業はあるか</p> <p>2) 三芳町中学生平和記念式典派遣事業等について</p> <p>①内容は</p> <p>②どのような効果・狙いがあるか</p> <p>③参加出来なかった生徒への意識醸成をどう図るか</p> <p>④町民全体が参加出来るような報告会を検討しては</p> <p>⑤広島市で原爆被害等を疑似体験出来るVRゴーグルの貸し出しを行っているが、当町も検討しては</p> <p>⑥広島市等、他市が行っている平和学習を参考にしては</p> <p>1) 部活動の状況について</p> <p>①各校の部活動毎の所属生徒数は</p> <p>②部員数に偏りがあった場合の対応は</p> <p>③練習等が十分行える環境が整っているか</p> <p>2) 町民からの意見について</p> <p>①テニス部においてテニスコートが少なく、練習環境が十分ではないとの意見があるが現状把握しているか</p> <p>②簡易ネットでの対応は</p> <p>③豊島グラウンド活用について協議出来ないか</p> <p>④三芳町総合運動場での練習について検討しては</p> <p>⑤三芳町総合運動場の生徒利用は全額免除しては</p>	<p>町長</p> <p>総務課 学校教育課</p> <p>総務課</p> <p>町長</p> <p>教育長 学校教育課</p> <p>学校教育課</p> <p>教育長</p> <p>町長</p>
10	光下 重之	1 町内循環ワゴン試行運転に	1) 車両確保の状況はどうか。町購入か、リース契約か	町長 政策推進室

		<p>ついて</p> <p>2 民有地から公道への土砂流出や廃棄物不法投棄問題の解決に向けて</p> <p>3 住居表示の調査・研究について</p>	<p>2) 10月試行運転開始の目途はたったか</p> <p>3) 住民・利用者への周知徹底は</p> <p>①町広報</p> <p>②回覧など行政連絡区配布網</p> <p>③インターネット</p> <p>④その他</p> <p>4) 試行運転の無料「お試し期間」を設定しては</p> <p>1) 以下の廃棄物等不法投棄箇所について、この間の行政側の動きはどうなっているか</p> <p>①町道幹線20号線（藤久保地域）</p> <p>②町道幹線10号線（上富地域）</p> <p>③町道幹線1号線、同10号線合流部付近（上富地域）</p> <p>2) 民有地から公道へ流出する土砂の処理をどう処理しようとしているか</p> <p>①町道幹線21号線沿線</p> <p>②町道藤久保283号線沿線</p> <p>3) 「公」と「私」の、いわば狭間の問題を前に進めるために、行政の能動的な取り組みが求められるのではないか</p> <p>1) 調査・研究の到達点は</p> <p>2) 20年以前から停滞している要因は何か</p> <p>3) 「行政連絡区・学区の再編とあわせて」としているのが遅れの要因になっているのではないか</p> <p>4) 行政連絡区・自治会、学区は関係しないとしている自治体があるが、どう考えるか</p> <p>5) 「わかりやすく訪ねやすいまちづくり」にふさわしく、住居表示でイメージアップ、町民に町行政の新鮮な意気込みを示してはどうか</p>	<p>町長 環境課</p> <p>道路交通課</p> <p>道路交通課 環境課</p> <p>町長 政策推進室</p>
1 1	長野真寿美	1 発達性ディスレクシアのある児童生徒への教育支援について	<p>1) 発達性ディスレクシア（発達性読み書き障害）の認識と現状把握について</p> <p>①小中学校における発達性ディスレクシアのある児童生徒の把握状況について、現状と課題をどのように認識しているか</p> <p>②教職員への発達性ディスレクシアに関する研修や啓発活動は、どの程度実施され、その効果についてどのように評価してい</p>	教育長 教育センター

		<p>2 消防団OBの活動支援と安心を確保する為の支援策の強化について</p>	<p>るか</p> <p>2) 早期発見・早期支援に向けた取り組みについて</p> <p>①就学前健診や小学校入学時における発達性ディスレクシアの可能性のあるスクリーニング検査等の導入について、検討状況は</p> <p>②早期に発見された児童生徒への具体的な支援として、どのようなプログラムや人的支援を想定しているか</p> <p>3) 教育現場における具体的な支援策について</p> <p>①通常の学級において、発達性ディスレクシアのある児童生徒への個別の配慮や支援はどの程度実施されているか</p> <p>②専門的な知識を持つ支援員の配置状況は</p> <p>③保護者への情報提供や相談支援についてどのような取り組みを行っているか</p> <p>4) 関係機関との連携について</p> <p>①医療機関や専門機関との連携はどの様になっているか</p> <p>②教育現場とこれらの機関との連携強化についてどのように考えているか</p> <p>1) 消防団OBの地域防災活動への貢献に対する町の認識と現状の課題について</p> <p>①本町消防団における人員不足の現状と、この課題解決における消防団OBの役割について、町はどの様に認識しているか</p> <p>②現在、公式に活動する機能別消防団員（OB）と、ハイパー初期消火隊などの非公式な活動について、町はそれぞれの実態をどのように把握し、評価しているか</p> <p>③これらのOB活動において、万が一の事故や負傷が発生した場合の補償について、現行制度の適用範囲と、特に機能別団員ではないOBが非公式に活動した場合の補償について、町はどの様に認識し、課題と捉えているか</p> <p>2) 消防団OB活動の安心確保のための具体的な支援策の検討状況について</p>	<p>町長 自治安心課</p>
--	--	---	--	---------------------

		<p>3 学童保育における支援について</p>	<p>①消防団OBの方々が、自身の負傷だけでなく、活動中に第三者に損害を与えた場合の賠償責任に関する不安なく活動できるよう、町としてどのような保険制度の導入や既存制度の拡充を検討しているか</p> <p>②機能別消防団員制度のさらなる活用（OBの参加促進策や、機能別団員への公務災害補償適用状況の明確化など）、全国消防協会災害時消防支援ボランティア保険の活用について町の検討状況は</p> <p>③他自治体における消防OBへの手厚い保障や支援策の先進事例について、町はどのような情報を収集し、本町への導入可能性を検討しているか</p> <p>3) 地域防災力強化に向けた消防団OBとの連携強化について</p> <p>①消防団OBの持つ豊富な経験と知識を、現役消防団員の訓練指導や地域住民への防災啓発活動にさらに活用していくための具体的な計画はあるか</p> <p>②今後、消防団OBの方々がより安全・積極的に地域防災活動に参加できるような環境を整備するために、町として総合的支援策の具体的な実施時期や予算化についての考えは</p> <p>1) 学童保育の現状と延長保育ニーズの認識について</p> <p>①朝・夜間延長保育の要望が増加しているが、町として共働き家庭・ひとり親家庭を含む、保護者のニーズを具体的にどのように把握し、どの程度の拡充が必要か</p> <p>2) 夜間延長保育の拡充に向けた具体的な検討状況と課題について</p> <p>①朝の延長保育の導入に向けた具体的な課題は</p> <p>②夜間延長保育について、共働き家庭やひとり親家庭の多様な就労実態を踏まえ延長の必要性についてどのように考えているか</p> <p>③学童保育の朝・夜間延長保育の拡充し、安心して働き、子育てできる環境を整備す</p>	<p>こども支援課</p>
--	--	-------------------------	--	---------------

			<p>るための総合的な支援策を計画してはどうか</p> <p>3) 学童保育における昼食提供体制導入の検討状況について</p> <p>①学童保育における昼食提供体制の導入について、町としてどのような検討を行ってきたか</p> <p>②導入の可能性と必要性について、町の考えは</p> <p>③他自治体の先進事例を踏まえ、本町への導入の可能性を検討したか</p> <p>④学童保育における昼食提供体制の導入を、三芳町の子育て支援施策全体の中でどのように位置付け、その意義ともたらされる波及効果についての町の考えは</p>	
12	本名 洋	<p>1 三芳スマート I C のフル化開通後の課題について</p> <p>2 学校統廃合に対する子ども、住民からの視点について</p> <p>3 教員の働き方改革について</p>	<p>1) 三芳スマート I C フル化開通後、どのような課題が発生しているか</p> <p>2) 三芳スマート I C 安全対策等調整会議資料について</p> <p>①中長期の安全対策は順調に取り組まれているか</p> <p>②フォローアップ体制は作動しているか</p> <p>③三芳スマート I C フル化地区協議会は開かれるのか</p> <p>④公表された案件はあるか</p> <p>3) 供用後改善された箇所はあるか</p> <p>1) 学校統廃合についてもっと幅広い視点での議論が必要ではないか (子どもが少なくなるから統廃合という単純な論点で良いのか)</p> <p>2) 統廃合について、子どもの権利条約 (三芳町子どもの権利に関する条例) の観点からどのような対応が求められるか</p> <p>3) 子どもの権利救済機関の設置が必要ではないか</p> <p>4) 教育委員会だけではなく町長も対応する必要があるのではないかと (町長と保護者・地域住民との意見交換)</p> <p>1) 公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法 (給特法) の改定により「教員の多忙化」は解決されるか</p>	<p>総合調整幹</p> <p>教育長 学校教育課</p> <p>こども支援課 町長 学校教育課</p> <p>教育長 学校教育課</p>

			<p>2) 超勤4項目以外は教員の自主的な業務なのか</p> <p>3) 勤務時間内に翌日の授業の準備をする時間が取れているか</p> <p>4) 各授業の準備時間はどれくらいが適当なのか</p> <p>5) 労働基準法で定められた45分間の休憩時間を勤務時間内に取れているのか</p> <p>6) それを可能にするためには、教員1人につき何コマくらいを上限とすべきか</p> <p>7) 1学級にどれくらいの生徒数が最適か</p> <p>8) どれくらい教員を増やさなくてはいけないのか</p> <p>9) なぜ不登校児童生徒が増えているのか</p> <p>10) なぜメンタルを病む教員が増えているのか</p> <p>11) 全国学力テストが児童生徒間、学校間、自治体間の競争を煽ることになっていないか</p> <p>12) 教員の働き方改革は時間外勤務を減らせば実現するのか</p> <p>13) 点数を上げるだけが学校教育ではない。教員の役割、学校教育とは</p>	<p>教育センター 学校教育課</p> <p>教育センター</p> <p>学校教育課</p>
13	増田 磨美	<p>1 藤久保地域拠点施設整備等事業の進捗状況について</p> <p>2 (仮称) 地域活性化発信交流拠点基本計画(案)について</p>	<p>1) 工事中の学校生活で意見箱に入っていた内容や教職員が見た子どもたちの状況は</p> <p>2) 気温が上がってきたが体育や水泳などの授業はどのように行っていくのか</p> <p>3) 町は事業費増についてどう考えるか</p> <p>1) (仮称) 地域活性化発信交流拠点基本計画(案)の内容について</p> <p>①ニーズ調査はどのように行ったのか</p> <p>②本拠点の目指すべき方向性について</p> <p>ア 武蔵野の景観を象徴とし来訪者、観光客を町に誘導とあるが、その後どこへ誘うのか</p> <p>イ 三芳スマートICフル化供用の中に町内周遊の発着地点とあるがどこを周遊するのか</p> <p>③基本方針にある飲食施設等の体験・利用とは</p>	<p>町長 学校教育課</p> <p>町長 施設づくり課 町長 総合調整幹</p>

		<p>④基本方針にある国内外の世界農業遺産の発信拠点として、情報が持つ誘引力により多様な魅力を創出するとはどのようなことか</p> <p>⑤農業・里山体験機能の内容は</p> <p>⑥地域住民、農家の協力は得られるのか</p> <p>⑦計画候補地1の配置計画図中の平地林(雑木林)とあるがどのようなものか</p> <p>⑧「賢い料金」の利用はできないが、リピーターを作るための施策は</p> <p>⑨地域振興方策の中に「世界農業遺産」認定地域と連携・交流を図り、インバウンドの受け皿となり地域活性化を図るとあるがどのような内容か</p> <p>⑩機能分担の検討という中で現在の上富小学校敷地の有効活用とあるが、既存の建物についてはどのように考えているか</p> <p>2) 上富地域の県有地の利用は考えているか</p> <p>3) 世界農業遺産に認定された町として内容をしっかり伝えられる機能とするのか</p> <p>4) 研究、教育のための施設としていくのか</p> <p>5) 財源をどう考えるか</p> <p>6) パブリックコメントの意見は</p> <p>7) 町民へのアンケート調査はどのように行うのか</p> <p>8) 町民説明会の予定は</p> <p>9) スケジュール通り進めるのか</p>	<p>町長</p> <p>町長</p>
--	--	--	---------------------